

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 肇 発行所／名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'23 5

名古屋園芸



花菖蒲菖翁名花の一つ、'霓裳羽衣' 堀切武蔵屋刊「花菖蒲図譜」より

昨年私の友人が本種の苗を贈ってくれましたので、五月下旬か六月上旬に開花予定です。開花いたしましたら店頭で展示させていただきます。二百年前の名花をご覧いただけましたら幸いです。 亮軒記

## 初夏の楽しみ方



## 小満 「穀物を潤す春雨が降る季節」

この時期はなんといってもシャクヤクがおすすです。1年を通して様々な品種に出会えるのもこの時期だけ。華やかな八重咲品種や色の変化が楽しめるコーラル系品種など。名古屋園芸では毎年シャクヤクフェアを開催しています。人気品種から希少品種まで豊富に取り揃えてお待ちしております。



ブーケ ¥5,500 (税込)  
使用花材：シャクヤク、ユーフォルビア、プブレイウム

5月は春の花たちがシーズンを終え、初夏の花に切り替わる時期。誇らしげに咲くシャクヤクたちが季節の移ろいを力強く伝えてくれます。1輪挿しでも十分楽しむことができるシャクヤクは、束ねて豪華なブーケにもおすすめです。オンラインショップにおいては二十四節気アレンジも展開中ですのでこちらも合わせてご利用ください。今月は初夏の花とともにお部屋で季節の移ろい感じてみてはいかがでしょうか。

## 季節の花便り

# 二十四節気の花飾り

— 立夏 小満 —

夏の兆しが見え始める5月の花便り。一年を二十四の季節に分け、四季の移り変わりを折り込んだ二十四節気。今月は「立夏」と「小満」の季節です。季節の移ろいとともに暮らしの中に花のある風景を取り入れてみてはいかがでしょうか。

## 立夏 「爽やかな風が吹き、美しい緑が生い茂ります。」

夏の始まりを感じるこの時期はデルフィニウムがおすすです。瑞々しいブルーの色合いは、汗ばむ陽気に爽やかな風を運んでくれそう。控えめな姿はインテリアに馴染みやすく、さりげなく飾るにはぴったりな花です。



ブーケ ¥3,850 (税込)  
使用花材：デルフィニウム、ユーフォルビア

## なんだか春の速さが心配になる

今年は桜もかなり早く咲きましたよね。4月前半にはフジが咲いてボタンも咲くという、春の花が一斉に咲く傾向があります。ゆっくりと順番に楽しみたいところですが、春がギュッと詰まってしまっ一気に春が駆け抜けていく感じがします。

園芸業界も自然の世界と同様に、あらゆる花が前倒しの傾向が感じられます。園芸店で並ぶ花は自然に咲く花よりも約一ヶ月早く、花によっては二カ月ぐらい販売が早くなっているようです。

春の代名詞ゼラニウムも今年2月には出荷され、当店で3月に販売が始まりました。そして4月前半にはオススメできる生産者のゼラニウムは出荷が終了という速さです。

夏の定番ニチニチソウも例年6月中旬から本格的に販売開始ですが、今の状態では5月中旬になりそうです。園芸店の花を見ることでも温暖化が感じられますね。

旬の食物をおいしくいただくように、名古屋園芸としても旬の花を大事にしていきたい。旬の花を植えることによって無理なく育てることができますが、時期がずれると難しくなります。その旬の時期が今までとずれてくるのがこれからはありそうです。どの植物も早く開花が進むような感じです。今までの固定概念を変えていかないと花も楽しむことがむずかしくなってきたなと思う今日このごろです。



④ニチニチソウといえば奈良の育種家、北島園芸さんのニチニチソウも5月中旬から始まりそうな予感！素晴らしいパフォーマンスのニチニチソウですよ。

## information.....

### 『趣味の園芸』50周年



『趣味の園芸』は今年の4月でちょうど創刊50周年を迎えました。先月号では小笠原家三代が『趣味の園芸』と園芸界の50年を、振り返り語りつくしました。テレビ放送の『趣味の園芸』の話や、創刊号の秘話まで様々な話題が飛び出しました。創刊当初から講師としてもお世話になっている『趣味の園芸』を、深く語っております。

先月号にはなりますが名古屋園芸ではまだ販売しておりますので、ぜひご覧ください。

# 花の博物館 第328回

## 花菖蒲培養録草稿 一冊

松平定朝自筆本  
嘉永四年(一八五二)仲夏

小笠原左衛門耐亮軒

## 花菖蒲培養録草稿 完



- ・花菖蒲培養録 草稿 嘉永元年仲夏序本(一八四八) 明治二十一年 写本 国会
- ・同 原稿 嘉永二年仲夏序本(一八四九) 自筆 国会白井本
- ・花菖蒲培養録 草稿 嘉永四年序本 ご紹介本 自筆 雑花園文庫本
- ・同 嘉永六年春陽序(一八五三) 自筆 国会白井本
- ・同 嘉永六年孟春序(同) 自筆 千葉大本
- ・同 同系本として菖翁長花菖蒲品種名並びに花色花容記
- ・花菖蒲花銘、一冊 一、二〇種 安政三年(一八五六) 菖翁より拝借し写本 楽松館写 国会本
- ・花菖蒲 一冊 一九一種 写本者不明 国会一ノ特
- ・同 二ノ一 菖翁松君家園奇種 万年子種 二九種
- ・同 二ノ二 戸川公園中奇種 松平家種 二〇種

右の通り国会図書館他に同類本が蔵されているが、列記本は、再影写、または写本、本文には大差ないが、花容図は花首のみ線描本、手彩本、あるも、千葉大本は当誌ボタニカルアートに記載と同様、花、花茎の一部、葉二枚程が一頁一図描かれ、同類本中最も美しく、紙も上等を用い、三割程大型本でありおそらく著者より身分の高い人からの頼みに応じたものであり、当文庫本はその意味で花も線描図や手抜き本と考えられる。